平成26年度特定侵害訴訟代理業務試験

論点 [事例問題1]

問1 起案

1. 損害賠償請求に関する請求の趣旨の内容
2. 均等侵害が認められるための要件
3. 均等侵害の請求原因とそのあてはめ
4. 損害賠償請求（特許法第102条第1項）に関する請求原因の内容

問2 小問

- (1) ①A 不法行為による損害賠償請求権の消滅時効の起算点（民法第724条前段）
B 一般債権の消滅時効の起算点（民法第166条第1項）
 - ② 催告は、6箇月以内に、裁判上の請求等をしなければ、時効中断の効力を生じない（民法第153条）ことへの理解
 - ③ 時効の利益は、あらかじめ放棄することができない（民法第146条）ことへの理解
- (2) ① 仮執行宣言付判決に対する控訴提起に基づく仮執行停止の申立て（民事訴訟法第403条第1項第3号）
 - ② 不利益変更禁止の原則（民事訴訟法第304条）に従った控訴棄却判決（同法第302条第1項）